

2021年度友愛労働歴史館事業計画

友愛労働歴史館は2021年度(2021.4.1~2022.3.31)に、Ⅰ展示会・講演会活動、Ⅱ資料の収集・管理作業、調査・研究活動、Ⅲ情報発信・PR活動などに取り組む。但し、新型コロナウイルスによる影響のため展示会活動や調査・研究活動に制約が出る事が予想される。

Ⅰ 展示会・講演会活動について

友愛労働歴史館は展示会活動として企画展と常設展を開催する。これらに伴う講演会活動は新型コロナウイルス対応のため中止する。2021年度は以下の活動に取り組む。

1. 展示会活動(企画展、常設展)

① 企画展について

2021年3月8日(月)から開催中の企画展「鬘(たてがみ)を持つ男・西尾末廣—労働運動・政治運動に生きた生涯—」(2021.3.8~7.5)を、7月5日(月)まで開催する。

7月9日(金)から企画展「川崎・三菱大争議から100年—闘い、伝えた人々—」(2021.7.9~12.24)を開催する。2021年6~8月は大正10(1921)年に神戸で起きた日本労働運動史上空前の川崎・三菱大争議から100年。これを記念した企画展である。争議を闘った人として賀川豊彦(キリスト教伝道者)、久留弘三(友愛会幹部)、伝えた人として村嶋歸之(ジャーナリス)を取り上げる。

2022年1月からの新企画展は今後、検討する。

② 常設展について

常設展「日本労働運動の100年余—友愛会・総同盟(戦前)を中心とする」は必要なメンテナンスを行いつつ、同一テーマで引き続き通年開催する。

なお、新型コロナウイルス禍、常設展・企画展に来館・見学できない人たちや当歴史館にメールアドレスを登録している人たちを対象に、展示解説用スライドをインターネットで提供する。具体的にはEメールに解説スライド(PDFデータ)を添付し、希望者に送付する。

2. 講演会活動

友愛労働歴史館は例年、企画展と連動させた講演会・労働講座を単独で開催し、もしくは労使関係研究協会その他の団体と共催している。しかし、2021年度は新型コロナウイルス対応のため講演会開催を見送ることとする。

II 資料の収集・管理・公開作業、調査・研究活動について

友愛労働歴史館は年間を通し資料の収集・管理や、調査・研究活動に取り組んでいる。2021年度は新型コロナウイルスに留意しつつ、必要な資料の収集・管理、調査・研究活動を行う。

1. 資料の収集・管理・公開

友愛労働歴史館は①友愛会から同盟までの民主的労働運動、②社会民衆党から民社党までの民主的社会主義運動、③福澤諭吉や安部磯雄らユニテリアンゆかりの社会運動、に関する資料の収集・管理、その公開に取り組む。

なお、寄贈を受け、また収集した資料の一部は未整理状態にあり、当館倉庫（友愛会館地下1階、同2階）に保管している。2021年度はこれら資料の整理作業に取り組んでいく。

資料公開の一環として①常設展・企画展の展示用解説スライドやその原資料の無料提供、②当館が所有するアナログ資料（各種書籍・出版物、写真）の閲覧サービス、③当館所有デジタル資料の実費提供、などを行っていく。

現在、実費販売中のデジタル資料としてデジタル版『六合雑誌』（SDカード版・12000円）、記録映画「灯をともした人々―川崎・三菱大争議の記録―」（DVD・1000円）がある。

この他、友愛会創立100年を記念して「友愛会創立を記念する会」が製作したDVD「友愛会から連合へ―日本労働運動の100年」、同記念切手シート「友愛会を創り、支えた人々」（80円切手10枚）が友愛労働歴史館に寄贈されている。当館はこれらを実費販売（1000円）していく。

2. 調査・研究活動

友愛労働歴史館は常設委員会として「ユニテリアンと社会運動研究会」と、「政治・社会運動史研究会」の二つの常設委員会を設置している。また、2018年に設置した井堀繁雄研究会、2020年に設置した友愛労働歴史館調査研究員会議がある。

これらによる2021年度の調査研究活動は新型コロナウイルスに留意しつつ個別に判断し、取り組んでいく。

井堀繁雄研究会（代表：梅澤昇平調査研究員）による井堀繁雄日記のデジタル化作業を早急に終了し、これによるワーキング・ペーパー『井堀繁雄日記を読む』の刊行をめざす。また、「井堀繁雄日記」デジタル資料は著作権問題をクリアーした上で近い将来、労働運動や協同組合運動の研究者らに公開する。

友愛労働歴史館調査研究員会議（現在、調査研究員7名）は新型コロナウイルスに留意しつつ、開催を検討する。

III 情報発信・PR活動について

友愛労働歴史館は年間を通じ情報発信・PR活動を行っている。2021年度は以下の取り組みを行う。

- ①インターネットを利用したメールレポート「友愛労働歴史館たより」の発信
- ②友愛労働歴史館ホームページ HP <http://www.yuairodorekishikan.com>での情報提供・PR活動
- ③公式ツイッター（@yuairekishi1912）の活用による情報提供・PR活動
- ④ユーチューブの活用による情報提供・PR活動の検討
- ⑤メールアドレス登録者約1320名（2021.4.1現在）を対象とする各種情報の提供・PR活動

IVその他

その他の友愛労働歴史館の活動、取り組みとして、2021年度は以下の取り組みを行う。

- ①労働運動・社会運動関連資料のリユースに取り組んでいる労働資料協（社会・労働関係資料センター連絡協議会）の活動に引き続き参加、協力していく。
- ②連合との連携による労働運動・社会運動資料の収集・管理を検討していく。
- ③友愛労働歴史館が所有する資料と人的ネットワークを効果的に活用し、研究者・学生の調査・研究活動に協力していく。

以上